No.	事業名	貢献度	優先度	総合評価	総合評価の考え方	改善点
1	特別保育事業	A	A	市:現状維持	子育て環境整備を図るうえで重要な事業であり、市民ニーズの把握に努め、事業を実施すること。	利用ニーズを把握しながら事業実施に努める。
2	遊戯室わんぱくホリデー事業	C	C	市:現状維持	利用ニーズを把握しながら、事業の実施に努めること。	利用ニーズを把握しながら、事業実施に努める。
3	休日お助け保育事業	C	C	市:現状維持	市民ニーズの把握に努め、未満児保育、時間延長について、検討すること。	未満児保育、時間延長について、利用者からの要望があれば積極的に対応する。
4	地域で行う子育て支援事業	C	C	市:現状維持	ファミリーサポート事業については、全市的に拡大の必要があるか検討すること。	ファミリーサポート事業は、現在、青海地域でのみ青海地区社協により実施されているが、社協から撤退したい旨の話が出ている。今後は市内全体で事業実施できるよう市直営で事業展開を図る。24年度より市直営で実施予定。
5	妊産婦健診事業	B	B	市:現状維持	全国で17都市しか実施していない助成制度(回数無制限)であるので、市民へのPRに努めること。	全国的にも、優れた助成を行っており、PRに努める。一方、県補助金の制度打ち切り、検査項目の追加などで、市費負担の増加の懸念がある。
6	妊娠アシスト事業	B	B	市:拡大・拡充	不妊治療費の限度を現状の2回から3回に拡充すること。	現行制度のまま回数を増加しても効果の向上は限られるので、特定不妊治療に対する助成、助成回数の見直しを行う。
7	民営保育所児童通園費助成事業	B	B	市:業務改善	市全体として、補助基準の統一を図ること。	補助基準の統一を図るため、まず糸魚川地域と能生地域の補助基準を統一する。24年度より統一基準を適用する。
8	子どもインフルエンザ接種助成事業	A	A	市:現状維持	疾病予防をするための経済的負担の軽減という意味では、貢献度、優先度ともに非常に高い事業である。接種による効果分析を行いながら、事業を実施すること。	子育て世代の経済的負担の軽減の観点から、本事業よりも対象範囲の広い子ども医療費助成事業を拡充するため、23年度で事業を廃止する。
9	ヒブワクチン接種助成事業	B	B	市:現状維持	感染による重篤化防止をするための経済的負担の軽減という意味では、貢献度、優先度ともに高い事業である。接種による効果分析を行いながら、事業を実施すること。	現状のとおり継続する。
10	肺炎球菌ワクチン接種助成事業	B	B	市:現状維持	感染による重篤化防止をするための経済的負担の軽減という意味では、貢献度、優先度ともに高い事業である。接種による効果分析を行いながら、事業を実施すること。	現状のとおり継続する。
11	むし歯予防事業	B	B	市:現状維持	現状のとおり、実施すること。	現状のとおり継続する。
12	乳幼児すこやか健診事業	A	A	市:現状維持	子どものすこやかな成長支援にとって、貢献度、優先度ともに高く、重要な事業である。現状のとおり実施すること。	現状のとおり継続する。
13	親子健康訪問事業	B	B	市:現状維持	子どもの成長支援や育児不安の軽減を図る上で、貢献度、優先度ともに高い事業である。現状のとおり、実施すること。	現状のとおり継続する。
14	AED設置事業	C	C	市:現状維持	市営・民営の幼稚園、保育園全てにAEDが配置済であり、今後は講習会の充実に努めること。	設置時に講習会を開催したが、今後は年1回程度の講習会を実施したい。
15	保育職員研修事業	A	A	市:現状維持	保育士・幼稚園教諭の資質向上の上で、優先度の非常に高い事業である。保育士等のニーズに応じた研修会内容の精査に努めるとともに、基礎的、専門的知識の習得する等、より一層の資質向上に努めること。	研修会の計画に当たっては、保育士のニーズを十分に把握した上で研修内容、講師の選定を行う。また、機会を捉えて知識を習得し、資質向上に努める。
16	中学校情操教育推進事業	B	B	市:現状維持	質の高い学校教育の推進の面で、貢献度、優先度ともに高い事業である。生徒の感動・満足度が高まるような事業実施に努めること。	現状のとおり継続する。
17	いじめ・不登校等対策支援事業	B	B	市:現状維持	一人ひとりの教育的ニーズに対応する体制の整備の面で、貢献度・優先度ともに高い事業である。初期対応の充実を図り、長期欠席者を増加させない対策を進めること。	現状のとおり継続する。